白河市長からお願い

1．近況

・本市では、地震による土砂崩れで１４名の方が行方不明となりました。
その後の捜索により、残念ながら１３名の方が遺体で発見され、現在も１名の方が発見に至っておりません。
・また、家屋の倒壊等により避難所に避難されている方は、約５００名になります。
・地震発生時には市内のいたるところが断水し、水の確保に苦労しましたが、現在はおおむね８０％程度復旧し、水に対する不安が解消しつつあります。
・一方、燃料、特にガソリン・軽油が逼迫し、復旧や支援活動に支障をきたしている状況にあります。
・さらに、白河産の農産物が引き取りを拒否されるなど、原子力発電にかかわる風評被害に頭を悩ませていますが、多くのボランティアの参加もいただき、市民一丸となって今回の危機を乗り切るべく活動を行っています。

2．今ほしいもの

・県内外の自治体・企業から、また被災された市民からも多くの救援物資が寄せられ、当面の必要品は充足しつつあります。
・一方、燃料、特にガソリン・軽油が逼迫し、切実な状況に陥っています。